

製品名: AChR α 5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06499**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRNA5
別名	CHRNA5; NACHRA5; Neuronal acetylcholine receptor subunit alpha-5
遺伝子 ID	1138.0
SwissProt ID	P30532
免疫原	抗血清はヒト AChR α 5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 166-215

背景

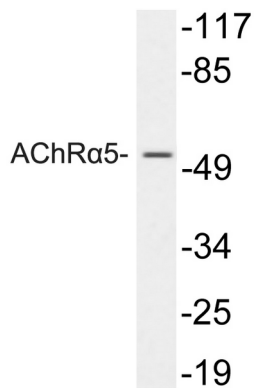
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ニコチン性アセチルコリン受容体のサブユニットであり、シナプスにおける高速シグナル伝達を媒介するリガンド依存性イオンチャネルスーパーファミリーの一員です。これらの受容体は、互いに独立して存在する

が類似したサブユニットからなるヘテロ五量体であると考えられています。この遺伝子の欠陥は、2型肺癌 (LNCR2) の感受性と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010年6月]、疾患: CHRNA5 の遺伝的変異は、2型肺癌 (LNCR2) の感受性と関連している可能性があります[MIM: 612052]。機能: AChR は、アセチルコリンと結合すると、すべてのサブユニットに影響を与える構造の広範な変化によって応答し、細胞膜を横切るイオン伝導チャンネルを開きます。類似性: リガンド依存性イオンチャンネル (TC 1.A.9) ファミリーに属します。サブユニット: 神経 AChR は、アルファと非アルファ (ベータ) の2つの異なるタイプのサブユニットで構成されているようです。

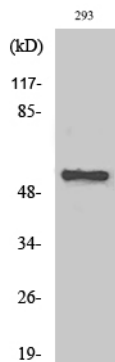
研究分野

-

画像データ



AChRα5 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。



AChRα5 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウエスタンプロット解析